

プラザからのお知らせ～地域の情報をお探しの方、すぎなみ協働プラザをご活用ください!～

助成金活用講座

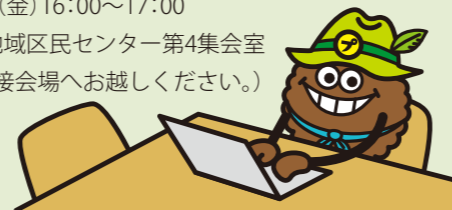
地域活動を対象とした区内の助成制度をご紹介するとともに、一般的な助成金の上手な使い方、申請書類作成のポイントについて分かりやすくご説明します。

- ◆日時:2月17日(土)
①15:00～16:30 ②18:30～20:00 (①②とも同内容)
- ◆場所:すぎなみ協働プラザ 交流コーナー
- ◆講師:阿波 睦夫(すぎなみ協働プラザ運営責任者)
- ◆申込:メール【info@nposupport.jp】またはお電話(03-3314-7260)でどうぞ。氏名、ご連絡先、講座名をお知らせください。

平成30年度杉並区NPO活動資金助成事業募集説明会

平成30年度の杉並区NPO活動資金助成の募集内容について説明します。例年4月に行う説明会を今回は3月に行いますのでご注意ください。※30年度から募集内容が大幅に改訂されます。(申請期間3月1日～4月14日)

- ◆日時:3月16日(金) 16:00～17:00
- ◆場所:阿佐谷地域区民センター第4集会室
- ◆申込:不要(直接会場へお越しください。)



杉並区NPO活動資金助成とは?

杉並区は「杉並区NPO支援基金」を設置し、皆さんからの寄附と区の財源をもとに、NPO法人等が行う地域の公益的な活動に対して助成金を交付しています。平成29年度は、9つのNPO法人による事業が助成対象に選定されました。

交流コーナー企画

福島県飯舘村の再生を目指して! ～ふくしま再生の会～

原発事故の被災地、福島県飯舘村で放射線のモニタリング、除染方法の開発、農業再生と新産業育成のパイロットプロジェクトなど実践的な活動を展開している「ふくしま再生の会」。その活動を紹介する企画展示です。

- ◆期間:2月1日(木)～2月28日(水)
10:00～18:00(最終日は16:00)
- ◆休館日:日曜日・火曜日・第3水曜日
- ◆入場料:無料
- ※2月24日(土)13:30から、細田工務店リボン館で、報告会「飯舘村inすぎなみ～話して、食べて、つながろう!」を開催します。こちらどうぞ!



「杉並NPOガイドブック2018」が完成

「杉並NPOガイドブック2018」が出来上がり、2月1日に産業商工会館で開いた発行記念交流会でお披露目しました。A4判、76ページで、発行部数は2,000部。

NPO法人のほか一般社団法人、任意団体など173団体を収録。掲載団体が見つかりやすいよう目次やページレイアウトを工夫しました。地域活動に関心がある人のため、企画ページ「まず踏み出してみよう!」や協働プラザの仕事のわかりやすく紹介したページなども組み込みました。



リレーコラム 茶もっこ

「茶もっこ」とは? 新潟県・松代地方の言葉で、通りすがりの人でも軒先に招き、もてなすお茶の意味。

まだまだ現役!

私は戦前生まれで80代後半に突入。同級生はとうに現役を引退しています。ですが、戦中派のためかじっといられない性分です。他人から相談を持ち掛けられると二つ返事で引き受け、面白そうなイベントがあると出掛けます。その結果、ダブルブッキングがしばしば起こります。気付いたことは「即行即止、間髪入れずに実行」がモットー。キーパーソンにはすぐに電話をかけ、会いに行きます。直接会って話すことを優先しています。現代の魔法の杖であるスマホを使わない手はないと、電話、メール、スケジュール管理、検索などに活用しています。車は2年前に廃車、移動は専ら自転車です。スタッフからは「事故が怖いのでやめよ!」とされています。さて、どうしようか。(味香興郎)



すぎなみ協働プラザ

http://www.sugi-chiiki.com/nposupport

〒166-0004 阿佐谷南1-47-17 阿佐谷地域区民センター4階
TEL:03-3314-7260 FAX:03-3314-7265
E-mail:info@nposupport.jp

- 開館日:月/水～土曜日 10:00～18:00
- 休館日:日・火曜日、第3水曜日、年末年始(12/28～1/4)
- アクセス
・JR中央線・総武線「阿佐ヶ谷駅」より徒歩2分
・東京メトロ丸ノ内線「南阿佐ヶ谷駅」より徒歩7分
※自転車でお越しの方は中庭駐輪場をご利用ください。
※駐車場はありません。



「すぎなみ協働プラザ」は、杉並区からの事業委託により「NPO法人CBすぎなみプラス」が運営しています。

CAMP



Know each other

今月のLine up

- ・特集:外国人と共生するために!
- ・助成金講座、説明会開催のお知らせ
- ・杉並NPOガイドブック2018 完成!

写真:杉並区交流協会 ウェルカムパーティーの様子

外国人と共生するために!

杉並区ではアジアを中心とした在住外国人が増え続けており、日常生活の中で外国人と接する機会が増えています。宗教、文化、生活習慣などが異なる外国人とどう共生していくか。外国人と交流しながら日本語を教えたり、イベントなどを通じて日本の生活・文化に親しんでもらったり、各地で取り組みが進んでいます。



杉並区交流協会

安心な暮らしへ教室や交流、相談

杉並区交流協会によると、杉並区在住の外国人の数は平成30年1月現在で16,352人。5年前に比べ56%も増加しています。国別では中国が5,409人でトップ。次いで韓国・朝鮮の2,780人、ネパール1,923人、ベトナム1,406人、台湾966人などの順で、大半がアジアの国・地域です。

外国人が杉並区で安心して暮らせるようにと、さまざまな事業を行っているのが杉並区交流協会。例えば、日常生活に必要なルールを知ってもらうための「ウェルカムパーティー」、ボランティアグループと連携した「日本語教室」(3ページ参照)、外国人から見た日本について話してもらう「日本語スピーチ大会」などを開催しています。



杉並清掃事務所によるゴミの分別体験

ウェルカムパーティー

毎年5月に開催するイベント。昨年は、30カ国・地域98名の外国人、85名の日本人が参加しました。

このパーティーではまず、国籍混合でグループに分かれて体験ブースを回ります。杉並清掃事務所によるゴミの分別体験や、杉並消防署・消防団による初期消火訓練・AEDの説明など、安心・安全に暮らすために欠かせないルールを学んでいきます。その後グループで一緒に昼食を作ったり、レクリエーションゲームをすることで、国籍を越え徐々に打ち解けていくのだそうです。

来日早々にルールを知ることによってトラブルを防ぐことができると同時に、友人や顔見知りを作ったり、地域に住む人や働く人と交流することは、孤立防止につながります。外国人が(日本人も)楽しく学びながら地域に溶け込める、意義深いイベントです。



ゲームで楽しく交流



2017年日本語スピーチ大会の様子

杉並区交流協会のほかにも、国際交流を担っている民間グループがあります。その数は決して多くはありませんが、交流協会とも連携しながら日本語学習の支援を中心に地道な活動を展開しています。右ページで紹介しているように、日本語教育と併せ習字や生け花、着付けなどの日本文化に触れる機会を設けたり、パーティーを開いて交流したり。外国人の悩みやトラブルの相談に乗っている団体もあります。

以下は杉並交流協会の活動のうち、地域と一体となって行われている「ウェルカムパーティー」について紹介します。在住外国人の方に楽しみながら日常生活のルールやマナーを学んでもらおうと、年1回開催しています。関係する行政機関のほかNPO団体や地元の高校、大学の学生ボランティアなども参加し、交流しています。

information

◆連絡先:03-5378-8833 (杉並区交流協会)

LTC 友の会

生きた日本語を学んでもらう

LTCはLanguage Training Circleの略。杉並区在住の外国人との交流で聞こえてきた「日本語をきちんと勉強したい」という声。その要望に応えようと松田有為子さんと山形美保子さんが1994年4月に「友の会」を立ち上げました。ボランティア会員25人が日本語を教えています。生徒は中国、台湾、ネパール、ベトナムなどアジア系の人が大半です。

松田さんは「日本語教室というよりは、同じ地域の住民として対等な立場で学習支援しています」と話します。日本語学習だけでなく、会員の厚意で料理・会食やお茶会、観劇など日本の生活・文化も体験し、「生きた」日本語を学ぶこともあるそうです。会員や学習者同士の交流も生まれ、一緒に旅行に出掛けたりしているとか。



information

◆連絡先:090-1816-6661 (松田)
yamamiho@zg7.so-net.ne.jp (山形)

文化学園杉並国際学生会館

いっしょに地域で暮らす

取材の日は大雪。雪の降らない国から来た学生たちが大はしゃぎでした。ここは19カ国から来た32人が暮らす学生寮。文化学園が設立・運営する寄宿施設で、管理人を務める増田隆二さん夫妻が留学生の日常生活をサポートします。

ウェルカムパーティー、流しそうめん、クリスマス会など親睦会は盛りだくさん。流しそうめんでは、近所の造園業者の方が本格的なそうめん台を作ってくださいするなど、地域の温かい協力もあります。

一方、留学生たちは方南小学校支援本部からの誘いで盆踊りに参加したり、泉南町会の一員として大宮八幡宮の神輿を担いだり、和泉沖縄まつりではエイサーを踊ったりと積極的に交流範囲を拡げています。祭りの後には街の清掃も手伝い、しっかりと地域に溶け込んでいます。



information

◆連絡先:03-3313-0157 (杉並国際学生会館・増田)

ゆうゆう荻窪東館の「国際交流サロン」

毎回違う国のゲストと意見交換

2017年2月から月に1回、区内在住の外国人をゲストに招き、お国事情や日本での生活などについて日本語で自由に話してもらおうサロン。地域の人たち約20人が参加して、ゲストの話聞き、1時間ほど質疑応答します。過去11回のゲストは中国、ネパール、ミャンマー、ベトナム、台湾、韓国など大半がアジア諸国出身の方々。

コーディネーターは日本語教育のベテランで、海外渡航歴が豊富な井上由巳子さん。杉並区交流協会と連携して、その人脈からゲストを探し出してくれます。「来日している外国人は多様化しているので、ゲストは毎回異なる国から招いています」と井上さん。

ゆうゆう館のサロン担当・長谷川義さんは「外国人ゲストとメールで交流する会員もいます」と話しています。



information

◆連絡先:03-3398-8738 (ゆうゆう荻窪東館)